

京田辺シュタイナー学校 主催  
アンドリュー・ウォルパート氏による講演会

**「東日本大震災を経験した日本人として、  
この試練をどのように考えるのか」**

大地震、津波、原発事故、かつてない震災を私たちは経験しました。悲惨な出来事ではありますが、私たちの奥深いところで何かが揺り動かされ、目覚めさせられた、そういう感覚を私たちは共有しているのではないのでしょうか。

今回のような巨大な天災、人災に対して、私たち日本人はどのように向かっていけるのか、また、日本というひとつの民族に留まらず、民族を越えて乗り越える道があるとしたら、それはどういうものなのでしょうか。

世界的なカタストロフィーをもたらした第一次世界大戦のあとに、シュタイナーはいろいろな提言をしていますが、今の私たちは、それをどのように応用することができるのか、アンドリュー・ウォルパートさんとともに、考えていきたいと思えます。

また、この時代に日本民族の魂が担うシュタイナー教育の意味をも探っていきたいと思えます。

この講座は、シュタイナー教育に関わる方々や、シュタイナー教育に関心をお持ちの方どなたにも聞いていただけます。どうぞご参加ください。

講師； アンドリュー・ウォルパート氏

Andrew Wolpert 1947年ロンドン生まれ。英エマソン・カレッジで The Spirit of English コースを18年にわたって指導。英人智学雑誌”The Golden Blade”編集者を10年勤める。日本ではこの9年間、人智学とルドルフ・シュタイナーの業績を背景として、教育学、歴史学、文学、語学、美術と多岐にわたる主題で講演会、ワークショップを行っている。京田辺シュタイナー学校の教員との親睦は深く、毎年教員研修のために同校を訪問。保護者向けにも講座を開催、毎回好評を博している。

**日時； 2011年8月18日(木) 19時～21時**

場所； 京田辺シュタイナー学校 第一ホール

参加費； 法人会員・友の会会員 1000円 一般 2000円

申し込み・問い合わせ； koen@ktsg.jp Fax 0774-34-0131

定員はございません。準備のため、参加予定者の人数とお名前を添えて申し込みをお願いします。こちらからの返信はいたしませんので、ご了承ください。